

# 志學

長野県塩尻志学館  
同窓會會報

第 26 号  
平成27年10月1日  
発行人 塩尻志学館高校  
同窓会長 小松千万蔵  
印刷所 (南)クマガイ印刷



## 同窓会活動に参加を 母校の発展に誇りを

同窓会長 小松 千万蔵

創立104周年を迎えた母校塩尻志学館高校は、本年242名の新入生を迎えスタートしました。

100周年記念事業の余韻は今もなお心に深く刻まれています。

合併前の町村毎に同窓会支部を設置し、東京支部・東海支部も含め46支部の活発な活動により100周年記念事業を開催させていただきました。しかし少子高齢化の中で県立高校84校の第二期統廃合計画の審議が始まっています。本校は長野県が初めて設置した総合学科として平成12年塩尻志学館高校に改称し16年目を経過し、県内のキャリア教育の先進校として注目されています。その教育目標は将来の職業選択を視野に入れた進路へ

の自覚を深めさせ、社会の変化に主体的に対応出来る心身ともに健康な人材を育成することとしています。そのためには産業技術と国際化の進展を踏まえ、生涯にわたる人間形成の基礎を培うため100を超える多様な科目を開設し、自らが科目を選択し時間割を作成することとしています。

このように生徒に主体性を持たせた学習は更に高度な目標に向かって習熟度を高めなければなりません。それには進学対策として同窓会・PTAで設置している桔梗塾の充実や個別指導など目的別対策が重要になります。同窓会として支援体制の強化に一層取り組んでまいります。同時に県下公立高

校のキャリア教育の先進的高校として今後共存続し、その成果を高められるよう支援してまいりたいと思います。同窓会支部の活動は本部活動の原動力でもあります。特色ある支部活動を期待いたします。本部事業も一層充実を図るよう計画しております。今までのソフトラレー大会・ゴルフ大会・女性部研修会の他に昨年度よりマレットゴルフ大会を開催し、会員皆様の年齢に合った競技を計画しておりますので是非ご参加をお願い致します。毎年5月下旬には総会を行い同窓会運営に関して御意見をいただきたいと思います。

本年7月11日・12日は母校の文化祭(桔梗祭)でありましたが、同窓会館に於いて第7回同窓生作品展を開催し、絵画・書道・写真・木工・手芸・山野草など数多くの作品が展覧され、同窓生の文化的幅広い取組みとして歓迎させていただきました。

なお、今後の新たな取り組みとして、卒業年度毎の同窓会やクラス毎の同級会など、地域を越えた同年代だけの集まりの開催を考えています。当時の共通した思い出や第二の人生をどう生きるかなどお互いの情報を持ち寄り、恩師を囲んで近況を語り合うなど、積極

的な活動を期待します。そのために必要な資料の作成や幹事役員の発掘など、準備を進めてまいりたいと思います。

また、今後とも、在校生の教育環境を整えるため最大限の支援をしてまいりたいと思いますので、運営費の納入につきましてもご理解ご協力をお願い致します。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

《平成26年度女性部研修会》





# ご挨拶

学校長 米窪 伸一郎

同窓生の皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。皆様の母校への熱い思いと、ご熱心な活動に対し心から敬意を表しますとともに、厚く御礼を申し上げます。

今年度も同窓会からは、母校の教育活動のために多大なるご支援をいただいております。特に桔梗塾や進路指導への財政的支援のおかげをもちまして、生徒たちの学習意欲は確実に向上しています。7月末時点での桔梗塾参加状況は、昨年度比で20%増、四年制大学進学希望者は全体比で15%の向上が見られます。今後も生徒たちに対しては、真剣に学習に取り組む姿勢をしっかりと身につけさせていきたいと思っています。

今、教育現場に改革の大きなうねりが押し寄せています。大学改革、高等学校改革、そして大学入

試改革と国の教育政策の動きは極めて激しいものとなっております。厳しい少子化の影響は、単に教育問題に留まることなく経済的・社会的にも深刻な影響を及ぼすこと

になります。今後の地域の担い手として、さらにはグローバル化が進む国際社会の中で、新たな人材育成のシステム作りが急務であることに疑う余地はありません。社会は劇的に変化しています。そして、その社会を生き抜く子どもたちに付けるべき力も大きく変わってきています。これまでの知識偏重の教育から新たな「21世紀型学力」への移行の議論は、ある意味で当然のことであると考えています。

塩尻志学館高校に総合学科が開設されてから今年で16年目になります。総合学科創設の理念は、新たな人材育成システムの構築であ

り、個性の尊重とキャリア教育の重視でした。そこで身に付けさせる能力や態度は、①社会での自己の在り方や生き方を認識する能力 ②職業の選択・決定に必要な能力や態度 ③将来の職業生活や社会生活に必要な態度やコミュニケーション能力 ④課題を認識し解決する能力や自発的・創造的な学習態度 ⑤生涯にわたって主体的・能動的に学習を重ねていく意欲や態度であり、まさに「21世紀型学力」そのものです。今、行われている大学入試改革の議論の中では、今までの知識や技能に合わせて、総合学科で重視している思考力や判断力、さらには表現力等をどう評価に位置付けるかが検討されています。

文部科学省は昨年度からプロジェクトチームを結成し、全国の総合学科高校のキャリア教育現状調査にもとづく実証的な研究に着手しました。本年度は塩尻志学館高校が全国唯一の調査対象校に指定され、すでに大学教授らでなるプロジェクトチームが本校を訪れ調査研究を行っています。そこでの研究成果は間違いなく今後の高等

学校改革に大きな影響を与えていくことになるはずですが、キャリア教育や総合研究をとおして培われた能力が高く評価される時代になっていくことに強く期待すると同時に、塩尻志学館高校の学びが本物であるかが試される厳しい時代の到来を予期せざるをえません。塩尻志学館高校は、今後も総合学科として使命感を持って努力し続けていきます。同窓生の皆様方からのご期待にも応えられるよう精進努力してまいりますので、これからもご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



# 副会長が改選されました

5月30日に開催された定期総会において、今まで副会長としてご活躍いただきました、青木俊英氏が退任されました。

同窓会の発展のためにご尽力を賜り、厚く感謝を申し上げます。なお、後任につきましては、中野重則氏(40年卒)が選任されました。今後のご活躍を期待するとともに、会員皆様のご支援とご協力をいただきますようよろしくお願い致します。



## 活力ある同窓会活動を 目標に

中野重則

私は、去る5月30日に開催された定期総会において再び副会長に選任されました。

100周年記念事業に向けた平成20年から二期4年間副会長として、主に桔梗会館の建築を担当しました。

同窓会を始め多くの皆様からご寄付をいただき、お陰様をもちまして立派に完成させることが出来ました。

そして、今回再び副会長に選任

されましたが、気持ちを切り替えて新たなスタートをしたく覚悟を決めたところでございます。

輝かしい伝統と歴史のある母校の一層の発展のために同窓会の果たすべき役割を認識し校長先生を始めとする先生方と連携を取り合

つて意義ある同窓会活動ができるよう副会長として努力して参りますので会員皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げ、就任の挨拶といたします。

# 同窓会活動報告

## 「女性部研修会」

女性部長 米窪 彰子

昨年11月15日、27名の参加により女性部研修旅行が実施されました。

小雨の中、3月14日開業の北陸新幹線飯山駅を見学。ふるさとの原風景の中にたたずむなつかしい高橋まゆみさんの人形たちに逢い。昼は湯田中温泉一茶のこみち、美湯の宿で親睦を深めました。

帰りは、JA中野市農産物館オランチエで、きのこ・果物などを買い帰途につく。

参加された大先輩の方々は皆若々しくバスの中は楽しい会話にあふれ本当に有意義な旅となりました。

本年も多くの方々が参加される事を願っています。



《高橋まゆみ人形》



《飯山駅構内》

「定期総会」開催される

5月30日(土) 中信会館ベルヴイホールに於いて、定期総会が開催され、事業報告・決算及び事業計画・予算並びに役員改選が満場一致で承認されました。

引き続き、同校書道部による書道パフォーマンスが行われ見事な腕前を披露して頂きました。

その後の懇親会は出席者全員で楽しいひと時を過ごし、終わりに校歌を斉唱し閉会しました。



《書道パフォーマンス》



《花束贈呈》

「桔梗祭」同窓会コーナー

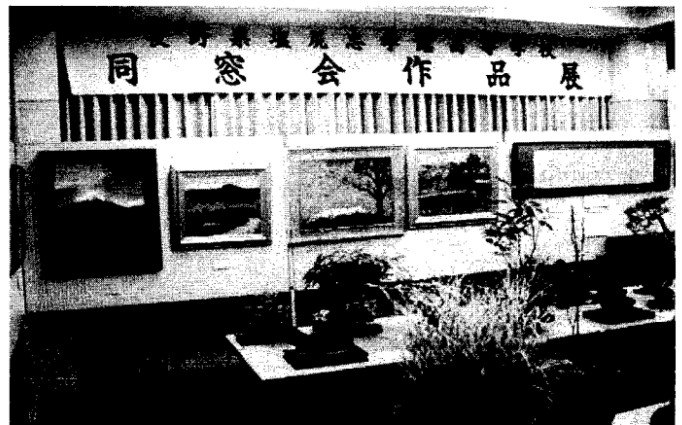
7月13日(土)14日、桔梗会館講義室に同窓会コーナーを設け、21名の力作が多数展示されました。

出展されました皆さまに感謝申し上げますとともに、次年度も新たに挑戦された作品の展覧を心よりお待ちしております。

また、今年度もご来場いただきました多くの皆さまに感謝申し上げます。



(パネル準備や飾付け等、ご協力に感謝申し上げます。)





賞品には本校ワイン及びワインカステラなどたくさん準備し、好評をいただきました。  
前回は引き続き塩嶺カントリークラブより賞品としてゴルフバッグの贈呈を受けました。

9月4日(金)塩嶺カントリークラブに於いて、第六回親睦ゴルフ大会が開催されました。  
当日は穏やかな天候に恵まれ、楽しく有意義な一日を過ごす事ができました。

### 「親睦ゴルフ大会」開催

〈二十一名の力作展示〉



《表彰式を終えて》



### これからの事業

- ・10月8日(木) マレットゴルフ大会は、アステイカたおかで実施予定
- ・10月25日(日) 支部対抗ソフトバレーボール大会は本校体育館を予定
- ・11月14日(土) 女性部研修旅行は名古屋市港防災センター方面を予定
- ・3月4日(金) 同窓会入会式
- ・3月5日(土) 卒業式(記念品・皆金賞贈呈)

### 支部活動報告

山形支部 上條 裕久

我が支部ではスポーツや道路のゴミ拾い等の独自の行事に取り組んでおります。しかし、母校の校名が変わり、塩尻志学館高校同窓会ともなると、違和感を持つ会員も多く、連帯感や母校愛も希薄となつて総会参加者数も減少傾向にあります。現在伝統的に継続して行われているのは合格された新入生にメッセージを添えて図贈呈す



《懇親会にて》

ることです。  
本年度は、『伝統や人数が多くてもバラバラではいけない。何とか愛校精神、一体感を持つて団結していきたい。』と考え、母校の源流である東農(東筑摩農学校)OB塩尻女学校のOGの先輩に、学生時代の青春についての講演をお願いしました。戦中戦後の、学生改革の激動の時代のお話は大変興味深いものでした。当日は予想を超える六十名以上の会員が聴講され、講演された先輩からも、会員の皆様からも『素晴らしい企画であった』と評価を受けました。

❖ 平成 26 年度 塩尻志学館高等学校同窓会事業報告 ❖

- |   |                                    |
|---|------------------------------------|
| 4月 5日(土) 入学式                                  | 9月 4日(木) 親睦ゴルフ大会 (参加者: 50名)        |
| 4月11日(金) 教職員歓迎会                               | 9月12日(金) 支部長会議                     |
| 4月27日(日) 桔梗塾開始                                | 9月22日(月) マレットゴルフ大会 (参加者: 22名)      |
| 5月11日(日) 正副会長会議                               | 9月24日(水) 第3回会報編集委員会                |
| 5月17日(土) 監査会                                  | 10月 9日(木) 第4回会報編集委員会               |
| 5月17日(土) 役員会議                                 | 10月24日(金) 同窓会会報25号発行               |
| 5月17日(土) 朝日支部総会                               | 10月25日(土) 東京支部総会                   |
| 5月31日(土) 定期総会・懇親会・ミニコンサート                     | 10月26日(日) 支部対抗ソフトバレーボール大会          |
| 6月 4日(水) 学校・同窓会懇談会                            | 11月13日(木) 各支部巡回・会報配布               |
| 6月16日(月) 北信越大会出場激励会<br>(弓道部、体操部、少林寺拳法部)       | 11月15日(土) 女性部研修会 (27名参加)           |
| 6月29日(日) 正副会長会議                               | 11月21日(金) 各支部巡回・会報配布               |
| 7月11日(金) 桔梗祭準備・作品展示                           | 11月22日(土) 東海支部総会                   |
| 7月12~13(土・日) 桔梗祭同窓会コーナー設置                     | 1月27日(火) 国大会他出場激励会<br>(剣道部、少林寺拳法部) |
| 7月16日(水) 全国大会等出場激励会<br>(剣道、水泳、体操、書道、弓道、少林寺拳法) | 2月 8日(日) 支部組織強化巡回 (正副会長)           |
| 7月17日(木) 第1回会報編集会議                            | 2月21日(土) 山形支部総会                    |
| 8月21日(木) カリフォルニアワイン研修会                        | 2月27日(金) 全国大会出場激励会 (少林寺拳法部)        |
| 8月21日(木) 東海大会激励会 (吹奏楽部)                       | 3月 4日(水) 同窓会入会式 (正副会長)             |
| 9月 1日(月) 第2回会報編集委員会                           | 3月 5日(木) 卒業式、記念品・皆勤賞贈呈             |

❖ 平成 26 年度 塩尻志学館高等学校同窓会一般会計決算書 ❖

(平成 26 年 4 月 ~ 平成 27 年 3 月)

(単位: 円)

1 総括	収入総額	5,152,014	特別会計	収入総額	6,502,210	繰越金、積立金、利息	
	支出総額	3,650,332	(周年事業積立金)	支出総額	390,864	進路指導室テレビ、書道部大筆購入	
	差引残高	1,501,682		差引残高	6,111,346	八十二銀行ル-積立	
2 収入の部	科 目	予算額A	収入額B	増減 B-A	摘 要		
	1、入会金 (入学時)	1,215,000	1,215,000	0	5,000円×243名		
	2、入会金 (卒業時)	1,160,000	1,155,000	△5,000	5,000円×231名		
	3、雑収入	400	9,188	8,788	貯金利子、記念誌代、他		
	4、運営費	1,000,000	480,000	△520,000	運営負担金		
	5、繰越金	2,292,826	2,292,826	0			
	小 計	5,668,226	5,152,014	△516,212			
3 支出の部	科 目	予算額A	支出額B	増減 B-A	適 用		
	1、総会費	150,000	197,610	△47,610	総会、懇親会補助、支部総会、ミニコンサート		
	2、会議費	150,000	128,572	21,428	三役会、役員会補助		
	3、旅費	100,000	103,080	△3,080	三役会、役員会、支部総会派遣等		
	4、通信費	300,000	197,688	102,312	送料、NTT利用料		
	5、事務費	150,000	48,566	101,434	消耗品他		
	6、人件費	500,000	312,000	188,000	事務職員給与		
	7、慶弔費	100,000	49,000	51,000	職員饗別、香典他		
	8、ホームページ運営費	50,000	39,354	10,646	ホームページ更新		
	9、名簿管理費	100,000	21,643	78,357	新会員加入・異動事項等更新		
	10、会報発行費	600,000	382,117	217,883	第25号会報、印刷費、送料		
	14、女性部助成費	200,000	199,038	962	活動補助		
	15、事業費	200,000	210,232	△10,232	支部対抗ソフトバレーボール、親睦ゴルフ、桔梗祭、マレットゴルフ、支部長会議他		
	16、生徒助成費	900,000	699,350	200,650	クラブ活動補助、ワイン研修等		
	17、生徒記念品費	250,000	181,300	68,700	卒業記念証書入れ、皆勤賞		
	20、桔梗塾運営費	250,000	250,000	0	桔梗塾補助		
	21、会館管理費	150,000	130,782	19,218	桔梗会館クリーニング		
	23、周年事業積立	500,000	500,000	0	八十二銀行リレー積立へ		
	24、予備費	1,018,226	0	1,018,226			
		小 計	5,668,226	3,650,332	2,017,894		

塩尻志学館高等学校同窓会会計監査報告

平成26年度同窓会会計について、通帳・会計帳簿・証拠書類を確認したところ適正に事務処理されていたことを認めます。

平成27年5月15日

監事 氏名 今 井 英 雄 ㊞  
監事 氏名 中 村 宏 ㊞

### ❖ 平成27年度 塩尻志学館高校 同窓会 年間事業計画 ❖

- 1、 今年度の基本方針  
会員相互の向上と親睦を図り、母校発展に寄与する。
  - 2、 平成27年度事業計画
    - 1) 母校の教育・クラブ活動の充実、発展を図るための助成を行う。
    - 2) 支部組織強化を図る。
    - 3) 各支部間の交流及び親睦を深めるため、ソフトバレーボール大会・ゴルフ大会・マレットゴルフ大会を行う。
    - 4) 学校・PTAなどとの協力体制を整える。
    - 5) 桔梗祭に同窓会コーナーを設け会員の作品を展示する。
    - 6) 女性部の親睦研修を行う。(県外予定)
    - 7) 同窓会報第26号を発行する。
    - 8) 平成27年度卒業生の同窓会入会式を行う。
    - 9) 平成27年度卒業生に卒業記念品・皆勤賞を贈る。
  - 10) 同窓会ホームページの活用を図る。
  - 11) 同窓生名簿の更新・管理を行う。
  - 12) 桔梗塾を運営する。
  - 13) カリフォルニアワイン研修の助成を行う。
  - 14) 総合研究発表会の助成を行う。
  - 15) その他、同窓会の目的達成のため必要と認められる事業を行う。
- ※ 正副会長会、役員会は必要に応じて開催する。

- 5月15日 (金)  
会計監査、役員会議開催
- 5月30日 (土)  
定期総会 中信会館ベルヴィホール 15:00～
- 6月16日 (火)  
支部長会議開催(中信会館)
- 7月11日～12日  
桔梗祭参加(同窓会コーナー開設)
- 9月4日 (金)  
親睦ゴルフ大会(於:塩嶺カントリークラブ)
- 10月1日 (木)  
第26号同窓会会報「志学」発行
- 10月8日 (木)  
親睦マレットゴルフ大会
- 10月25日 (日)  
支部対抗ソフトバレーボール大会  
(於:母校小体育館)
- 11月14日 (土)  
女性部研修旅行(県外、詳細は未定)
- 3月4日 (金)  
同窓会入会式(於:母校大体育館)
- 3月5日 (土)  
卒業式(記念品・皆勤賞贈呈)

### ❖ 平成27年度 塩尻志学館高等学校同窓会一般会計予算書 ❖

平成27年5月30日 総会資料

(単位:円)

1 総括	区 分	本 年 度	前 年 度	比 較
	収入予算額	4,932,082	5,668,226	△736,144
	支出予算額	4,932,082	5,668,226	△736,144
	差引残高	0	0	0

2 収入の部	科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	摘 要
	1、入会金(入学時)	1,215,000	1,215,000	0	5,000円×243名
	2、入会金(卒業時)	1,215,000	1,160,000	55,000	5,000円×243名
	3、雑収入	400	400	0	貯金利子、記念誌代、他
	6、運営費	1,000,000	1,000,000	0	運営負担金
	7、繰越金	1,501,682	2,292,826	△791,144	
	小 計	4,932,082	5,668,226	△736,144	

3 支出の部	科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	摘 要
	1、総会費	150,000	150,000	0	総会・懇親会補助、イベント料
	2、会議費	150,000	150,000	0	三役会、役員会補助
	3、旅費	100,000	100,000	0	三役会、役員会、支部総会派遣等
	4、通信費	300,000	300,000	0	送料、NTT利用料、振込手数料
	5、事務費	150,000	150,000	0	消耗品他
	6、人件費	500,000	500,000	0	事務職員給与
	7、慶弔費	100,000	100,000	0	職員饗別、お見舞い
	8、ホームページ運営費	50,000	50,000	0	ホームページ更新
	9、名簿管理費	60,000	100,000	△40,000	平成26年度卒業生データ整備、名簿修正
	10、会報発行費	450,000	600,000	△150,000	第26号会報、印刷費、送料
	13、支部助成費	200,000	0	200,000	支部総会、還元金
	14、女性部助成費	200,000	200,000	0	活動補助
	15、事業費	200,000	200,000	0	越前ソフトバレーボール、ゴルフ、樹隈、マレットゴルフ、支部長会議他
	16、生徒助成費	800,000	900,000	△100,000	クラブ活動補助、ワイン研修等
	17、生徒記念品費	250,000	250,000	0	卒業記念証書入れ、皆勤賞
	20、桔梗塾運営費	250,000	250,000	0	桔梗塾補助、教材備品
	21、会館管理費	150,000	150,000	0	桔梗会館クリーニング
	23、周年事業積立	0	500,000	△500,000	特別会計積立(八十二銀行リレー定期)
	24、予備費	872,082	1,018,226	△146,144	
	小 計	4,932,082	5,668,226	△736,144	

# 同窓生の活躍

## 日本ワイン文化の黎明期

31年卒 塚原嘉章



近年、日本のワイン消費は有史以来最大の消費量となっており、一九七〇年大阪で開催された日本万国博覧会の頃からワインの

消費が始まり、この時が第一次ワインブームとされ、その後四度のブームを経て一九九八年の第六次ワインブームでは、含有成分のポリフェノールが健康に良いとされ消費が急増しました。その後はこのブームの反動もあり、二〇〇八年まで減少をしていましたが、二〇〇九年より再び増加を続け、現在は第七次ワインブームと言われているとされています。今回のブームはこれまでとは異なり、明瞭なきっかけがないにもかかわらず、日常多くの方々にワインが取り入れられるようになってきた感があります。

今日、我が国の食事内容の欧米化が益々進んでいる中で、「ワインと料理は車の両輪の関係にある。」ことの実践が巷で始まって

いる証かもしれません。また、ワインに関する情報の書物やインターネット等の発達により、ワインがより身近になってきていることも増加の要因と思われれます。

一昨年より、長野県では信州ワインバレー構想を十年計画で推進しております。桔梗ヶ原、日本アルプス、千曲川、天竜川の四地区をワインバレーとし、ブドウ畑とワイナリーを増やし、遊休荒廃農地を再生して長野県の豊かな自然と観光の調和を計り、ひいては長野県の発展に寄与することを目的としております。長野県は国内有数の良質ワインの産地として定評があります。近い将来、この四つの平の地域ワイナリーが、観光地宿泊施設、商業施設等と連携して

魅力あるワインバレーを作り、地域内外より多くの人が訪れ、地域の食文化、伝統文化、ワイン文化を満喫できるワインツーリズムが盛んになるものと期待しております。

本校の多くの卒業生が各地域のワイナリーでご活躍されておりますが、今後も地域のワイン産業発展のため、ワイン文化醸成のためご支援いただきますようお願いいたします。



### プロフィール

山梨大学醸酵研究所  
東京農業大学醸造科

33年卒  
35年卒

現 株式会社 井筒ワイン

代表取締役

長野県ワイン協会

理事長

日本ワインコンクール実行委員会

副会長

前 塩尻商工会議所

副会長

塩尻市観光協会

会長



# 平成26年度 塩尻志学館高等学校 13期生進路合格状況

## 四年制大学計55名

### 一国立大学 計3-

長野県看護大学	看護学部	1
都留文科大学	文学部	1
長岡造形大学	造形学部	1

### 一私立大学 計52-

佐久大学	看護学部	3
諏訪東京理科大学	工学部	3
清泉女学院大学	心理コミュニケーション	1
長野大学	社会福祉学部	2
長野保健医療大学	作業療法専攻	1
松本大学	総合経営学部	6
	人間健康学部	3
秀明大学	学校教師学部	1
亜細亜大学	国際関係学部	1
学習院大学	法学部	1
関東学院大学	工学部	1
工学院大学	工学部	1
	先進工学部	1
実践女子大学	人間社会学部	1
拓殖大学	工学部	1
玉川大学	工学部	1
東海大学	海洋学部	1
東京造形大学	造形学部	1
東京農業大学	生物産業学部	1
東洋大学	文学部	1
日本大学	工学部	1
文化学園大学	現代文化学部	1
法政大学	キャリアデザイン学部	1
洗足学園音楽大学	音楽学部	1
神奈川大学	経済学部	1
	法学部	1
日本医療科学大学	保健医療学部	1
健康科学大学	健康科学部	1
	健康科学部	1
帝京科学大学	生命環境学部	2
上武大学	看護学部	1
金沢工業大学	工学部	1
中部学院大学	人間福祉学部	1
愛知学院大学	商学部	1
愛知工業大学	工学部	1
日本福祉大学	子ども発達学部	1
	健康科学部	1
名城大学	理工学	1
南九州大学	環境園芸学部	1

## 短期大学 計54名

### 一公立短期大学 計7-

長野県短期大学	日本語日本文化	1
	英語英米文化	2
	健康栄養	1
	生活環境	2
大月短期大学	経済科	1

### 一私立短期大学 計47-

飯田女子短期大学	家政学科	1
	幼児教育学科	6
信州豊南短期大学	幼児教育学科	4
清泉女学院短期大学	国際コミュニケーション学科	3
	幼児教育学科	1
松本短期大学	介護福祉学科	3
	看護学科	2
	幼児保育学科	11

松本大学松商短期大学部	経営情報学科	12
愛知工科大学自動車短大	自動車工業学科	1
湘北短期大学	生活プロデュース学科	1
鶴見大学短期大学部	歯科衛生科	1
名古屋短期大学	英語コミュニケーション学科	1

## 各種教育機関 計6名

長野県工科短期大学校		1
長野県農業大学校	総合農学科	3
長野県林業大学校		1
日本ナレーション演技研究所		1

## 専門学校等 計82名

信州上田医療センター附属看護専門学校		2
諏訪赤十字看護専門学校		1
諏訪中央病院看護専門学校		1
松本看護専門学校		3
上田情報ビジネス専門学校		3
エプソン情報科学専門学校		1
大原学園専門学校	松本校	11
信州医療福祉専門学校	柔道整復学科	1
信州リハビリテーション専門学校	理学療法学科	6
松本歯科大学衛生学院		1
松本調理師製菓師専門学校		4
松本理容美容専門学校		7
未来ビジネスカレッジ		3
帝京高等看護学院		1
愛知総合看護福祉専門学校	保健看護学科	1
エコール辻調理専門学校		3
神田外語学院		2
国際動物専門学校		1
国際文化理容美容専門学校		1
国際ペットワールド専門学校		1
尚美ミュージックカレッジ専門学校		2
専門学校東京ネットウエイブ		1
東急観光専門学校		1
東京外国語専門学校		1
東京環境専門学校		1
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷		1
東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校		1
東京ビジュアルアーツ		1
東京文化美容専門学校		1
東放学園映画専門学校		1
日本外国語専門学校		1
日本工学院八王子専門学校		1
文化服装学院		3
山野美容専門学校		1
VENUS ACADEMY 東京校		2
新潟農業・バイオ専門学校		5
金沢製菓調理専門学校		1
名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校		1
ニチエイ調理専門学校		1

## 就職 計27名

公務員	2
民間	25

長野県警2、カンロ4、GAC、塩嶺福祉協会、五千尺、ヤマトインテック、キッセイ薬品、乗鞍休暇村、サンビジョン、セントラルバック、高沢産業、プエナビスタ、ホテル翔峰、東洋計器、ナガタ運輸2、護国神社、光商会、ホテル鷺の湯、マサムラ、こまくさ野村、ヤマダ電機、ヤマト運輸

# 生徒の活躍 (県大会以上)

## 26年度 後半

- ◇女子バレーボール 新人体育大会 県大会出場

---

- ◇女子サッカー
  - 第23回全日本高等学校選手権 県大会 3位入賞
  - 第9回高校女子サッカー 県大会 5位入賞

---

- ◇女子硬式テニス
  - 全日本ジュニアテニス選手権18歳以下 県大会出場
  - シングルス 有賀 ダブルス 有賀・翁像
  - 秋季選手権大会 シングルス県大会出場 滝内

---

- ◇軟式テニス
  - 新人体育大会 団体戦女子 県大会出場
  - 個人戦男子 県大会出場 藤沢・小川
  - 個人戦女子 古畑・宮坂 吉原・成合 石林・下平
  - 選抜大会 団体戦女子 県大会出場

---

- ◇卓球
  - 全日本卓球選手権ジュニアの部長長野県予選会ベスト16 中村
  - 新人体育大会 団体戦 県大会出場 男子団体・女子団体

---

- ◇男子バドミントン
  - 新人体育大会 団体戦 県ベスト16 個人戦出場

---

- ◇女子バドミントン
  - 新人体育大会 団体戦 県大会出場

---

- ◇陸上 新人体育大会
  - 男子 細田 円盤投4位 砲丸投4位 ハンマー投13位
  - 古林 やり投 19位 木村 200m 9位
  - 女子 田畑 100mH 7位 三村 3000m 19位
  - 小林 3000m 21位 佐藤 円盤投げ 19位
  - 北信越新人大会 男子 細田 円盤投 13位 砲丸投 19位
  - 駅伝大会
    - 男子総合成績 21位 野口・木村(幸)・宮坂・赤堀・古林・木村(祐)・百瀬
    - 女子総合成績 11位 三村・小林・田畑・宮坂・酒井

---

- ◇体操 北信越ジュニア体操競技選手権
  - 男子団体総合 3位 (及川 長野県メンバー)
  - 女子団体総合 4位 (小林 長野県メンバー)
  - 男子個人 及川18位・野村19位
  - 女子個人 小林15位 田中26位
  - 新人体育大会 (県大会)
    - 女子団体総合 優勝 (田中・小林・塚原)
    - 男子個人総合 青木1位 野村3位
    - 女子個人総合 小林2位 田中3位

---

- ◇剣道
  - 県新人体育大会 男子団体出場 女子団体出場 (5位)
  - 北信越新人大会 男子個人 西澤 ベスト8進出
  - 女子個人 勝山・平田・矢口 出場

---

- ◇弓道 県新人体育大会 男女団体 県大会出場
  - 男子個人 宮本 小平(決勝進出)
  - 女子個人 竹下

---

- ◇少林寺拳法 県新人大会
  - 男子 自由单独演武 小林5位 規定单独演武 工藤1位
  - 女子 規定单独演武 百瀬1位 規定組演部 薮・関根1位

---

- ◇吹奏楽
  - 第13回管楽器個人・重奏コンテスト 高校部門 長野県大会
  - 宮原・唐澤 フルート独奏 銀賞
  - 打楽器三重奏・クラリネット三重奏

---

- ◇音楽 NHK全国学校音楽コンクール県大会 銅賞

---

- ◇美術 県高校美術展出品 押澤 木塚 印牧

---

- ◇書道 長野県書道展覧会 特選 上條 青木
- 金賞 青木・元村

- 全国書道展 (岐阜女子大学主催) 出展
  - 特賞 武田・銭坂 奨励賞 元村
  - 長野県現代書藝展 毎日新聞社賞 小松
  - 書道パフォーマンス大会 県3位
  - 全日本高等学校書道コンクール 準部門賞 石林
  - 全日本高等学校書道教育研究会賞 北澤・青木・青柳

---

- ◇写真
  - 第21回高写連 入選 名取・戸谷・竹村・鎌倉・一瀬
  - 第21回高等学校写真展 出品 名取・戸谷・竹村・鎌倉・一瀬

---

- ◇ダンス
  - 日本高校ダンス部選手権関東甲信地区大会 出場
  - 第10回長野県高等学校ダンスフェスティバル 6位入賞(奨励賞)

---

- ◇文芸部
  - ライトノベルワンシーンコンテスト 佳作 熊崎
  - 大阪経済大学主催 17歳からのメッセージ 銀賞 大橋
  - 商業同好会 信州ベンチャーコンテスト 高校生部門奨励賞
  - 第2回エコノミクス甲子園 長野大会 出場

---

- ◇農業クラブ 県大会 意見発表の部出場
  - 「食料・生産」小林 「環境」西山 「文化・生活」鰐川
  - 全国(沖縄)大会 農業鑑定協議会 優秀賞 「園芸」萩場

## 27年度 前半

- ◇陸上 県総合体育大会
  - 細田 円盤投 12位 砲丸投 9位 佐藤 円盤投 21位
  - 三村 3000m 17位 小林 3000m 24位
  - 古林 八種競技 12位
  - 女子100mH 8位 田畑
  - 男子200m 8位 木村(幸)

---

- ◇女子バレーボール 県総合体育大会出場
  - 1回戦 対丸子修学館 2:1
  - 2回戦 対長野商業 0:2

---

- ◇卓球 県総合体育大会
  - 女子団体戦 ベスト8
  - 女子ダブルス ベスト16 (高橋・登内)

---

- ◇剣道 県総合体育大会
  - 女子団体 準優勝 北信越大会出場
  - 女子個人 内田 ベスト8 北信越大会出場

---

- ◇水泳 北信越総合体育大会出場・増田

---

- ◇体操 県総合体育大会
  - 男子個人 優勝 野村 北信越大会・インターハイ出場
  - 女子団体 優勝 北信越大会・インターハイ出場
  - 北信越総合体育大会 女子団体・男女個人 出場
  - 女子団体 3位 (田中・塚原・小林)
  - 男子個人総合 野村 22位
  - 女子個人総合 小林13位 田中18位 塚原19位
  - 北信越国体 野村(県のチームメンバー) 男子団体総合3位
  - 同 小林( ) 女子団体総合3位
  - 全国高等学校選手権大会 野村 男子個人に出場
  - 同 女子団体総合メンバー 田中・塚原・小林
  - 野村・小林 国体出場

---

- ◇少林寺拳法 県総合体育大会
  - 女子組演武 薮・百瀬 優勝 北信越大会・インターハイ出場
  - 男子組演武 小林・工藤 3位 北信越大会出場
  - 单独演武 関根 3位 北信越大会出場
  - 北信越総合体育大会
    - 組演武 女子14位 男子13位 单独 15位

---

- ◇自転車競技 小林 北信越総合体育大会・インターハイ出場

---

- ◇書道部 全国総合文化祭出展 石林 特別賞受賞

# 生徒の様子

## 桔梗祭を終えて

**生徒会**  
 生徒会長  
 三年一組 細田 歩

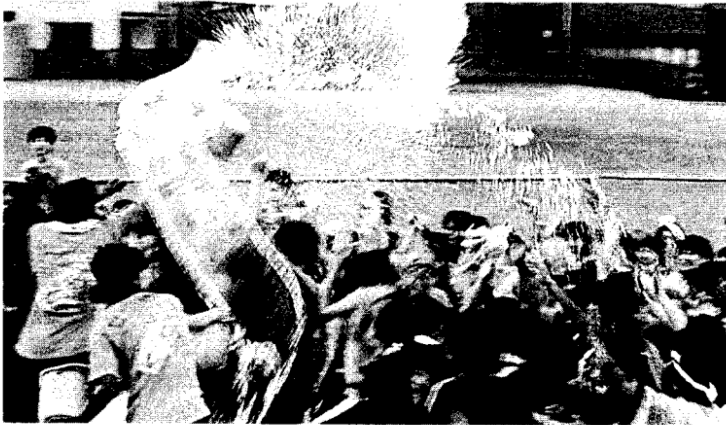
今年の文化祭は、例年以上に多くの困難がありました。

一番は、中庭が使えないこと。昨年まで広い中庭で屋外ステージを使って様々な企画で楽しめていた中庭が、新校舎建設工事のために使えなかったのです。

中庭企画に代わるものをどうするのか。そんな不安を抱えたまま桔梗祭は近づき、役員の中でもいくつかの意見の食い違いによる衝突が繰り返されていきました。

しかし、桔梗祭が無事盛況裏に終わった今、役員がまとまって成功させようとする目標に向かうことができたのは、そんないくつかの衝突を乗り越えることができたからであると思っています。

閉祭式を迎えた役員の目に浮か



ぶ涙を見たとき、この仲間たちと一緒に仕事ができたとを本当にありがたいことだと思いました。今年はいくつもの工夫を凝らしたつもりです。だから多くの失敗もありました。この経験を忘れずに次の代に引き継いでいきたいと思っています。

最後に、桔梗祭と一緒に作り上げた役員と全校生徒の皆さんと先生方、来場いただいた全ての方々に、御礼申し上げます。

## 合唱はチームプレー

**合唱部**  
 三年四組 布山 史華

こんにちは！ 音楽部です。

音楽部は現在一年生七名、二年生五名、三年生三名の計十五名で毎日活動しています。

主な活動としては、地域の音楽祭やイベントへの出演、文化祭での発表などのほか、夏と冬に行われるコンクールに向けて練習しています。

私たちは、自分たちの思いを歌にこめ、聴いて下さる方々にその思いが届くよう努力しています。

ディサービス訪問などの慰問演奏で私たちが歌い、涙を流して喜んでくださる方々を見ると、とても嬉しくなります。これからもそんな合唱ができるようにがんばりたいと思います。

また、合唱をするときにもう一つとても大切にしていることがあります。それは「チームワーク」です。合唱はみんなで作り上げるものです。誰か一人でも別の方向を向いていたら絶対に良い歌には



なりません。自分の意見を素直に伝え、全員で同じ方向を向いて取り組んでいきたいと思っています。一回一回の演奏させていただく機会を大切にして、みんなで最高の合唱を作り上げたいと思います。



# 書道パフォーマンス を通じて

**書道部**  
三年二組 青木めぐみ

私たち書道部は、三年生十一名、二年生六名、一年生十八名の計三十五名で顧問の清水先生のご指導のもと個人作品と書道パフォーマンスを中心に活動しています。昨年度より、私たちは塩尻警察署と一緒に特殊詐欺防止のための活動を行っています。小学生の考えた標語を部員が書き、それを塩



尻市内の銀行や郵便局に掲示して特殊詐欺の防止につながるよう呼びかけています。昨年は塩尻駅にて特殊詐欺防止の啓発活動に参加させていただき、部員二名が一日警察署長と一日駅長となり、部

員でチラシ配りをしたり、駅前パフォーマンスを行いました。この活動で地域の皆さんに特殊詐欺について意識してもらうことができ、部員たちも詐欺について考えるいい機会になったと思います。

書道パフォーマンスでは、信濃毎日新聞社、NPO法人国際文化友好協会から毎年依頼を頂いています。昨年はその他に、長野プロパンガス、塩尻の商工会議所、老人ホームグレイスフルなどからも依頼をいただき、パフォーマンスを行ってきました。これからも書道を通じて地域の方と交流していきたいと思っています。

最後になりましたが、書道部のために大筆を購入していただきありがとうございます。これからはこの大筆を使い、力強いパフォーマンスをお見せできるように部員一同努力していきたいと思っています。

# 地域に感謝

**ボランティア部**  
三年四組 塩原 佳歩

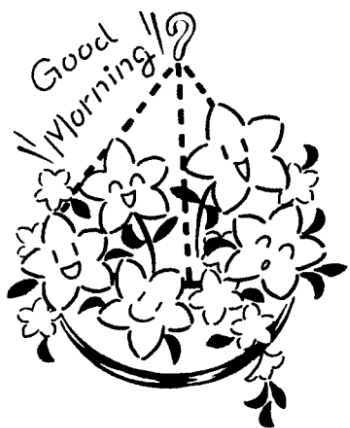
私たちボランティア部は、三年生六名、二年生一名、一年生二名の計九名で活動しています。

主な活動内容としては、塩尻市内の福祉施設や保育園などを訪問してのボランティア活動ですが、社会福祉協議会などからの要請によって色々な場所でボランティア活動をさせていただいています。

本年度は、塩尻駅前のグレイスフル塩尻の建物の中にある保育園と高齢者福祉施設のほか、日の出保育園でも活動させていただきました。具体的な活動としては、利用者さんとの会話や、物作りを一緒にやらせていただいています。また保育園では絵本の読み聞かせも行っています。

地域の施設で多くの活動をさせていただき、様々な経験をさせていただけることは、本当に有難いことと感謝しています。私たちは、その気持ちをこれからの行動で示していこうと考えます。そのため

にも、私たちは今、自分たちができることを精一杯やっています。すべての活動に、その意味を確認しながら、全ての人に感謝をもって活動をしていこうと思います。



# 夢をつなぐ一滴のしずく



塩尻市長 小口利幸

本市の基幹産業である製造業は、最先端の技術、人材、拠点施設が集積し、県内トップクラスの製造品出荷額を誇るなど市内産業を牽引しております。農業は都市近郊型の利を生かし、野菜と果樹の生産体制が形成され、レタスを中心に多様な種類の野菜が栽培されております。また、果樹は、ブドウ、リンゴ、ナシなどが栽培されておりますが、特に本市の気候風土はブドウ栽培に適しており、高品質のブドウが生産されております。

本市でワイン醸造が始まったのは明治31年。以来、生産農家や醸造家



の一世紀を超える弛まぬ努力と研究により受け継がれた高い志により塩尻ワインは進化してまいりました。現在、市内には10社のワイナリーと塩尻志学館高等学校を合わせて11のワイナリーが存在するワイン産地となりました。

醸造されたワインを消費者の視点で審査する制度が長野県原産地呼称管理制度です。平成14年から始まりましたが、現在まで塩尻産のワインは認定品全体の7割近くを占め県内ワイナリーのリーダー的存在となっております。また、日本ワインコンクールや国際的なワインコンクールにおいても本市のワイン、特にメルローのワインは高い評価を受けており世界基準のワイン産地の一つとして「桔梗ヶ原」の名は世界中に知られるようになり、日本ワインを牽引するトップランナーとしての地位を築いていると言っても過言ではないでしょう。

本市ワイン産業の持続的な発展と資質の向上に資するため平成14年から農業者育成研修事業として塩尻志学館高等学校の海外ワイン

研修への支援を続けており、本年まで延べ65人の生徒がフランスやアメリカでの研修を受けております。しかしながら、この研修に参加できない多くの生徒にも「生きたワインの研修を」とメルシャン(株)と塩尻志学館高等学校との連携事業を塩尻市の仲介により平成20年11月協定の締結を行い、日本トップクラスの醸造方法やブドウの仕立てや剪定、ワインの品質を分析する際のノウハウなど実践的に学習をしていただく機会を創設しました。今後、これらの研修や学習を糧に、国内はもちろん海外でも活躍する人材として育っていただくことを期待しております。さらには、本市の一大イベントになりました「塩尻ワイナリーフェスタ」におきましては、県内外から訪れた多くのお客様が、生徒たちの手により醸造したワインを堪能し、その味に魅了されております。

市内に目を向けますと、本年6月末には市内10番目のワイナリーが柿沢に誕生しましたし、片丘地区では、日本を代表するワインメーカー「メルシャン(株)」が7畝の農地を活用しワイン用ブドウ栽培の新たな展開がされております。また、本市で開講している塩尻ワイン大学の受講生の数名がブドウの栽培を開始するなど、ワインやブドウ栽培への動きが大変活発化してきております。国産ブドウ100%を原料に造られるワインは「日本ワイン」と呼ばれ、



近年消費者の間で注目を集めており、消費量は毎年緩やかに増加を続けております。これらの状況を追い風に、さらに世界が認める日本ワイン造りに向け、ブドウ農家や醸造家、ワイナリー、地域の方々やワイン愛好家など多様な人々による強固な連携が重要であります。昭和18年から連綿とワインを造り続け、多くの優秀な人材を輩出している塩尻志学館高等学校への期待はさらに高まってまいります。塩尻の未来は新しい世代に託されています。この分野では他に類を見ない強い個性を活かし、地域との連携や貢献に寄与されること、キャリア教育の一層の充実を図り様々な分野で活躍できる人材の育成に大きな期待をしております。



## カリフォルニア ワイン研修

引率職員  
農業科 榛葉 亨

第五回目となるカリフォルニアワイン研修。本年度は、生徒四名と共に八日間の研修に行っていました。この研修の期間、世界でも有数のワイン産地であるカリフォルニア、その中で最も有名なナパ、ソノマのワイナリー一〇社を訪れ、ブドウの栽培からワイン醸造までの過程を学びました。また、カリフォルニア観光、最終日には実際に現地でワインブドウを栽培しているセントヘレナ農業高校との交流等、時間が足りないくらい充実した研修をすることができました。

道の両脇には巨大化したユウカリの木が並び、照りつける太陽で

乾燥した広大な土地には見渡す限りのブドウ畑、その中に数多くのワイナリーが点在し、ワイン産地としてのスケールの大きさに驚かされました。

研修を行った一〇社はそれぞれの歴史とこだわり、プライドを持ちブドウ栽培とワイン醸造をしていました。そして観光地としての考えももち、ワインにかける熱い思いを肌で感じる事ができました。この熱い思いがカリフォルニアワインを育て、守り続けているのだと感じつつ、多くの事を学べた八日間でありました。

四名の生徒は地域のワイナリーへの就職、ワインの研究をするた

めの進学を希望していることから、今回の研修が生徒にとって大きな財産となり、日本ワイン有数の地である塩尻市において、活躍してくれるものと期待しています。

今回の研修をご理解いただき、多大なるご支援をいただきました塩尻市、本校同窓会の皆様に対しまして、心から感謝申し上げます。

## 研修に参加して

三年五組 小野 華奈

高校へ入学した時からずっと行きたかったカリフォルニアワイン研修へ行ってきました。

研修では現地のワイナリー一〇社の視察とセントヘレナ高校との交流会に参加してきました。

アメリカは日本とは違い湿度が低く、乾燥していてとても過ごしやすい気候でした。調査を行うとカリフォルニアのぶどうは、収穫一ヶ月前にして既に糖度二〇度を超えていてとても驚きました。ぶどうの生育にふさわしい気候を肌で感じてくることができました。

ワイナリーの視察では、各ワイナリーの魅力やこだわりを知ることができました。圃場管理は機械

化せず手作業、化学肥料などは使わず動植物など自然の力を使うなど、ワイナリーごとにこだわりがありました。

ワイナリーにはたくさんさんの観光客が訪れていました。中国やメキシコなど海外からも訪れている人が大勢いることから、カリフォルニアワインがブランドであることにも気づかされました。

将来この研修の経験を生かして、塩尻市のワイン産業を盛り上げて行きたいと思っています。

今回とても貴重な体験をすることができました。私たちの研修に関わったすべての人に感謝いたします。ありがとうございました。



### 産学官連携

塩尻市が架け橋となり、平成二十一年度から本校とメルシャン（株）シャトー・メルシャン（山梨県甲州市）との連携が始まりました。メルシャンは塩尻市にも栽培圃場をもつ企業です。この連携事業は、企業側から技術指導をいただくことが目的です。ブドウの栽培管理、ワインの醸造や品質管理等、プロの視点から様々な専門的な知識を学ぶ絶好の機会となっています。またワイン関係授業受講生徒の甲州市へのシャトー・メルシャン他ワイナリー視察研修では、塩尻市による援助のもと塩尻市職員も同行して行っています。



### ワイナリーフェスタ

毎年、塩尻市が企画運営しているイベント「ワイナリーフェスタ」は五月に開催しています。チケットは、発売開始から三日間で完売するという人気ぶりで、県外からも大勢のお客さんが来ます。ワイングラスを片手に各ワイナリーをシャトルバスで移動しながら試飲を楽しむという内容のイベントですので、会場の一つである本校にもたくさんの方が来ます。ブドウ畑を見学し、ワイン学習の展示パネルを見ながらワインを味わい、満足して次の会場へと移動していきます。当日、来校者と生徒との直接の関わりはありませんが、

準備段階での生徒の取り組みがなければ運営できません。

### 中信ワイン利き酒会

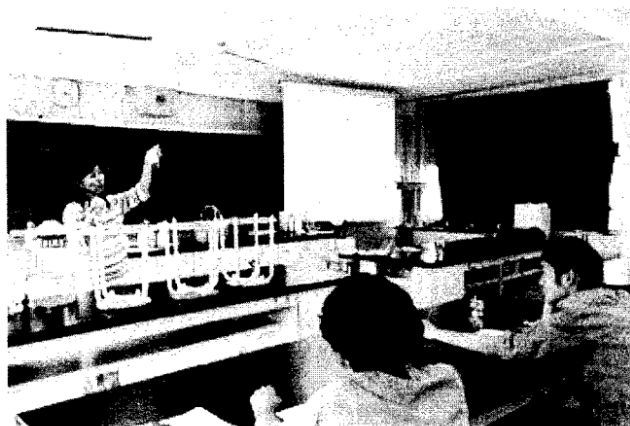
中信ワイナリー協会主催の「ワイン利き酒会」が毎年六月に開催されます。この協会に所属する一〇社がワインを持ち寄り、ソムリエや国税局を初めとする専門家による品質審査が行われます。この地域のワインの品質向上がこの会の目的で、今年で三十六回目を迎えました。この会が始まった当初から企画・運営は本校がおこなってきていますので、長期に渡っての取り組みです。本校のワインも毎年、高い評価を得ています。



### 塩尻市業務委託契約者からのサポート

この地域のワインの更なるレベルアップを目指し、今年、塩尻市が酒類総合研究所元研究員高橋千秋氏と業務委託契約を結びました。高橋氏は本校に週3日ほど来て、授業で専門的な内容の指導をいただいています。ブドウやワインの成分分析、各種の微生物実験等は生きた授業の提供であり、生徒の目の輝きにも変化が現われています。我々職員も多くのことを吸収できればと考えています。

（農業科 横澤 一弥）



## 同窓会運営費納入のお願い

同窓会活動は、通常総会を始め、ゴルフ・マレットゴルフ・ソフトバレー大会や女性部の研修視察、会報の発行などの事業を行い、会員相互の交流と親睦を図っているほか、在校生の皆さんが北信越大会や全国大会などに出場するときの激励、総合学科ならではの様々な発表会での経費補助や支援活動などを行っています。

少子化による生徒数の減少に伴い同窓会の運営費用も大変厳しい状況でありますので、会員皆さんの深いご理解をいただき、運営費のご負担をお願いします。

なお、本年度から支部組織の強化を図るため、昨年の実績（協力体制等）を勘案する中で、支部総会を実施した場合に、支部に対して助成金を交付することにしていきます。

【同窓会事務局】・所在地 〒399-0703 長野県塩尻市大字広丘高出4-4  
 ☎・FAX 0263-53-8069（連絡は火曜日午後・不在時は学校事務室52-0015）  
 メールアドレス / [ssd100@violet.plala.or.jp](mailto:ssd100@violet.plala.or.jp)  
 ホームページ / <http://www7.plala.or.jp/ssd100/>  
 郵便払込口座 / 00530-1-101170 長野県塩尻志学館高等学校同窓会

長野県は本年度、『信州ワインバレー構想』を発表しました。この中で、県内を4つの地域（ワインバレー）に分け、長野県産ワインのブランド化とワイン産業のさらなる発展を推進していくことが述べられています。

では、この4つのワインバレーとは、

- ①千曲川ワインバレー
- ②日本アルプスワインバレー
- ③天竜川ワインバレー



あと1つのワインバレーの名前は？

ヒント：「同窓生の活躍」の中

ワイン  
ク  
イ  
ン  
ス

## 編集後記

塩尻市は今年8月から、ワイン銘醸地振興事業として、ブドウ及びワインの品質向上を図ることを目的に「ブドウ、ワイン分析調査研究員」を設置し、志学館高校との授業にも携わることとなりました。ワイン産業の発展と共に、人材育成、特色ある学校づくりにも期待しているところです。

さて、会報を通じて現在の学校の様子もお伝えしていますが、各支部や会員の皆様の活躍や活動の原稿も常時募集しています。また同級会等開催の時はご一報いただき、会報の配布もいただけると嬉しく思います。

情報やご協力をお待ちしております。よろしくお願ひ致します。

### 編集委員氏名

編集委員長 丸山寿子（53年卒）  
 委員 島山伸（44年卒）  
 委員 手塚真次（52年卒）  
 委員 赤羽敬子（53年卒）  
 委員 小松嘉由（61年卒）